


事業名称	ネーブルパーク宿泊施設整備事業		
寄附目標額	8,225千円	古河市総合計画の位置付け	6 - 3 - 3
事業区分	移住と定住を促し、新しい人の流れをつくる事業		
関連するSDGs			
			
現在抱えている課題	<p>ネーブルパーク内にある研修施設「平成館」は平成4年に竣工されて以来、市内企業等の宿泊研修や、団体旅行などで活用されてきたが、近年の社会情勢の変化に伴うニーズに対応できていないという課題がある。また、竣工から約30年が経過して老朽化が進んでいることに加え、車いす利用者が客室や大浴場まで入れないことなど、機能性の欠如も見られている。また、施設内にはレストランも併設しているが、宿泊者の減少に合わせて、休止しているため、観光消費額の向上に結び付いていない課題がある。公園の利用者アンケートにおいても、カフェ等レストランの充実に加え、バリアフリー化や施設改修の要望が数多く寄せられている。</p>		
プロジェクトの概要及びポイント	<p>ネーブルパーク平成館の客室改修、玄関及びトイレのバリアフリー化、トイレの洋式化、レストラン改修、浴場・脱衣所・湯上り処改修、空調設備改修によるリニューアルを実施する。</p>		
目指す将来像	<p>観光拠点の1つであるネーブルパーク内の研修施設を宿泊施設として大規模改修を行うことで、本市への滞在時間延長による周辺アクティビティや、施設、小売店への経済的な波及効果を図るとともに、交流人口を創出し、エリアとしての魅力を向上及び地域の活性化を目指す。</p>		
事業担当課	都市計画課		